

じゃっと新聞

No.56号

総会報告・スタディツアー案内

発行日：2010.9.13

発行人：小幡 順子

発行所：じゃっと事務局

〒895-0054 鹿児島県薩摩川内市神田町
11-20 若松記念病院内

TEL/FAX 0996-27-0193

e-mail jaddo@po2.synapse.ne.jp

<http://www2.synapse.ne.jp/jaddo/>



ボンサワーン村小学校で絵本の読み聞かせ中



スーパーがつく残暑が続いていますが、みなさまお元気でお過ごしでしょうか。

ラオスは今、雨季と呼ばれる季節で日本の夏のように蒸し暑い季節です。しかし、毎日のようにスコールと呼ばれる走り雨があり、雨の後は涼しく過ごせる気候です。雨季が終わると乾季です。乾季は気温が高く確かに暑いのですが、乾燥しているので雨季より過ごしやすい季節です。(11月下旬から5月下旬ごろ) 過ごしやすく体調を崩しにくいこの季節を選んで、じゃっとでは例年スタディツアーを行っております。現地ラオスでも、過ごしやすいために祭りや結婚式などの行事の多い季節です。

昨年は、新型インフルエンザの関係で募集をひかえた学生枠も今年は実施する予定です。アジア貢献賞、MBC 賞などでいただいた賞金を基にしたこの企画も今年までとなりました。今回は、ある会員様のご厚意で2名募集枠を増やすことができました。紙面を借りてお礼申し上げます。

ところで、現地ラオスでは2010年5月21日に教育省と保健省の連名で、「全国学校保健政策」が発表されました。これは7つの分野から構成されており、さらに今後教員養成カリキュラム等に追加される予定です。その内容には「学校は正しい健康管理を促進し注意喚起をするのに最良の場である」と明記されています。じゃっとがラオスで活動を始めた18年前には、その概念さえなかった「学校保健」がいよいよ本格的に動き出したといえます。

しかし、よく読むと技術労働や資金援助を広く、多くの組織からの協力を期待する表現も見られます。じゃっとをはじめ、ラオスの保健、学校保健関係の団体が引っ張っていかねばならない面もあるようです。今後もじゃっとの活躍の場は続くようですが、一日も早い撤退を夢見て活動していきたいと思っております。

理事 小幡 順子

平成 21 年度 (2009 年) 事業報告

自 2009 年 4 月～至 2010 年 3 月 31 日

本年度は新型インフルエンザのリスク回避のため学生のラオス派遣は実施しなかったが、一般 9 名でのスタディツアーを実施した。

、JICAカウンターパート研修事業として、ミャンマーから教師 1 名を薩摩川内市教育委員会が受け入れた際、協力を行った。

鹿児島大学留学生センター主催の「多国籍合宿」にて、分科会を主催した。また、その他講師派遣依頼に基づき開発教育に関する講座を行った。

1. 国内の活動

① 絵本部：

例年通り、「ラオスの子ども達に絵本を届ける運動」を行った。(社団法人「シャンティ国際ボランティア会」から、ラオス語訳のシールと共に日本の絵本セットを購入。会員、また活動を理解し協力して下さる方々にラオス語訳シール貼りの作業を手伝って頂き、シャンティを通してラオスへと送るものである)

会員、会員の家族を中心に実施した。シールを貼る前に絵本を楽しんでいただき、ボランティアや国際協力について意識する良い機会となっている。

② バザー部：

じゃっどスタディツアー時に物品を仕入れた。

各種イベント等に積極的に参加し、ラオス雑貨のバザーを行った。

◆参加したイベント

- ・薩摩川内市ぎおん祭り (7 月)
- ・純心大学祭 (10 月)
- ・薩摩川内市きやんせふるさとフェスタ (3 月)

③ 開発部：

◆理事による講演、会合への出席

- ・第 6 回九州ろうきん NPO 助成フォーラムに参加 (4 月)
- ・鹿児島大学講義「ボランティア論」(6 月、11 月)「国際交流のすすめ」(6 月)
- ・鹿児島大学留学生センター「多国籍合宿」に参加。分科会主催 (6 月)
- ・JICAカウンターパート研修 (7 月)
- ・かごしま国際フェスティバル ブース出展 (11 月)
- ・第 18 回青少年健全育成意見発表大会 協賛 (薩摩川内市 2 月)
- ・市民活動促進懇話会 出席 (薩摩川内市 2 月)

④ 広報部：

- ・じゃっど新聞 54 号、55 号を発行
各号は、じゃっどのホームページからご覧になれます
- ・「NPO じゃっどパネル展」 薩摩川内市国際交流協会に展示

◆じゃっど事務局訪問

- ・JICAカウンターパート研修生 (ミャンマー人、MS ジンマーウィンさん 1 名)
- ・九州電力協同組合鹿児島支部執行委員長 川俣広孝氏

2. ラオスでの活動

◆本年度活動対象校と活動内容

◆活動内容

Nathair(ナテ)・・・校長が幼児舎建設の資金が不足している事、机イスが必要であることの相談を受けた。話し合いの結果建設費の援助を決定し建設中である(次ページ写真①—⑥)。じゃっどの次回スタディツアーに完成式典を行ったらどうか。

机イス 15セット 文具、スポーツ用品、教室建設資材資金を供与

Thadindeng (タディンディン)・・・政府からの基金で新しい校舎ができていた。

Nongkheng(ノンケン)・・・じゃっどが支援した図書室は完成し、本も届いていたが雑然と積まれていた。教師は管理セミナーを受けていた。本棚、天井付けファンがない。トイレは給水が故障した為、使用されていなかった。電気の配線と給水用ポンプ、天井ファン、本棚の要望があった。電気配線及び天井ファン、文具スポーツ用品、衣類、図書室建設費を供与

Samketh(サムケ)・・・トイレは使用可でよく手入れされていた。校長からは、幼児舎の床を補修する金が不足しているとの報告があった。机イスも不足している。

机イス 20セット、文具、スポーツ用品、幼児教室床補修費供与

Ban Houaypoun・・・職員室がないこと、図書室の本が不足しているとの状況報告があった
スポーツ用品、文具 衣類を供与

Pho-Ngoi (フォノイ)・・・教室はじゃっどの支援で新しくなった。机イスの要望あり。

机イス 15セット、教室建設費を供与

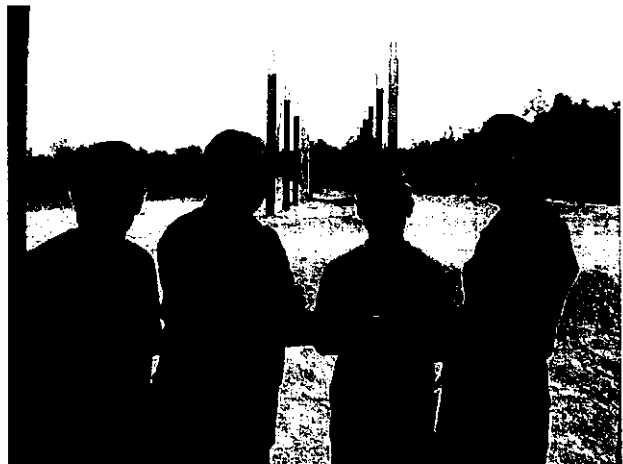
○健康診断

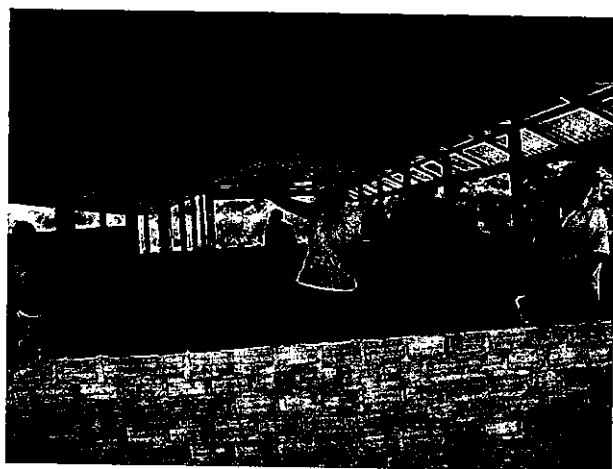
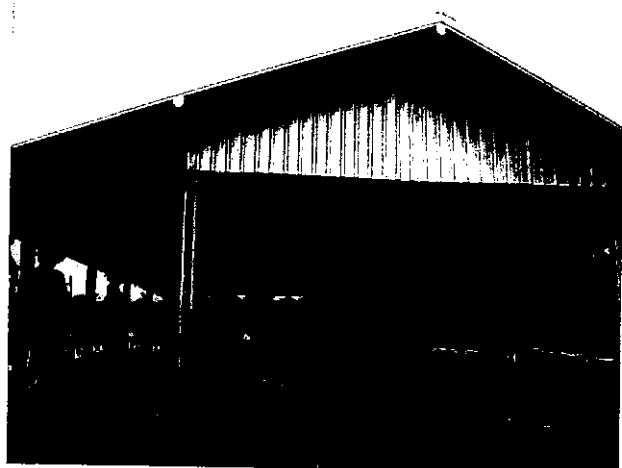
本年度の実施はなかった

○教師対象のセミナー

本年度の実施はなかった

Nathair 小学校 工事進行写真





3 視察ツアー

スタディツアー 2009年12月22日～12月31日 参加者9名

カンボジア視察—対象校視察(6校)—モーラム音楽家訪問

日		移動	内容	
12月22日	火	福岡—ソウル—シエムリアップ		シエムリアップ泊
12月23日	水		アンコールワット観光	シエムリアップ泊
12月24日	木		市内視察	シエムリアップ泊
12月25日	金	QV航空 522	シエムリアップ—バクセ—コーン島	コーン島泊
12月26日	土		コーン島視察、学校訪問	バクセ泊
12月27日	日	バクセ—ビエンチャン	移動	ビエンチャン泊
12月28日	月		対象校視察	ビエンチャン泊
12月29日	火		対象校視察	ビエンチャン泊
12月30日	水	ハノイ—ソウル	移動	機内泊
12月31日	木	ソウル—福岡		

平成 22 年度 (2010 年) 事業計画

1. 国内活動

- ① 絵本部：じゃっど活動の広報、開発を兼ねて、また地域貢献への意識も持って行う。
絵本の仕入れ元であるシャンティ国際ボランティア会 (SVA) とは、ツアー時の現地事務所訪問等、つながりを持っていく。
- ② バザー部：ツアー時に物品を仕入れ、各種イベントなどに積極的に参加し、広報活動とともにラオス雑貨販売する。「ボランティア」協力のひとつとして関心を集め、協力の裾野を広げていく窓口とする。
- ③ 開発部：昨年に引き続き、以下を行う。
 - ・鹿児島大学法学部にて講義「国際交流のすすめ」
 - ・鹿児島大学にて講義「ボランティア学」
 - ・鹿児島大学留学生センター「多国籍合宿」にて分科会主催
 - ・県内の国際交流活動に積極的に参加
 - ・薩摩川内市の小中学校を中心に、スタディツアーに関連して事前講演（募金活動）と事業後の参加者（及び派遣学生）による講演活動を行う。
- ④ 広報部：じゃっど新聞の発行、ホームページ、ブログの更新
パンフレットの作成、配布、ボランティアスタッフの募集 ほか

2. 国内事業

① 「ラオススタディーツアー」関連事業

2010 年 12 月下旬（平成 22 年 12 月 23 日～30 日ごろを予定）

- ・じゃっどを鹿児島県内でもっと知ってもらい、国際協力の理解者を増やし若い人たちにスタディーツアーを企画、実施する。
- ・大学生・専門学校生・高校生を対象とする「学生枠」を設けて、参加費の一部をじゃっどが助成する。（※鹿児島県下より大学生 2 名、薩摩川内市の高校生 2 名を予定）
- ・ツアーに合わせて、ラオス国内の事業（研修等）の一部を行う。
- ・ツアーに前後して、市内の小中高を対象とする事前講演（机イス募金活動）と事後報告会を行う。
- ・ツアー終了後には「ツアー報告パネル展」及び「帰国報告会」を開催する。派遣学生は体験記を作文、スライド等で発表する。

② 「じゃっどパネル展」の開催

薩摩川内市の民間（および公共）施設で、パネル展を実施する。6 月 26～27 日 他

③ 会員向け広報、サービス

じゃっどオリジナル T シャツ（一昨年作成）の頒布（1000 円以上の寄付を頂いた方へお礼として）

④ 国際協力シンポジウムに参加（久留米、聖マリア大学にて） 7 月 17 日

⑤ 助成金等

⑥ 薩摩川内市国際交流協会ネットワーク団体

鹿児島県および薩摩川内市の各種助成制度への応募
企業との連携・・・パネル展（地元企業）の共催

3. ラオスでの事業の実施に関する事項

1) ① 小学校での健康教育、健康診断、② 教師へのセミナー 教材作成 ③ 学校の設備充実のうち、
①と②を充実させたい。

☆これまで作成した教材、A;絵本と紙芝居「きれいな水はどこ?」「やけど」「蠅」「アンクルおじさんの栄養」とB;ラジオドラマ「きれいな水はどこ?」と衛生の歌3曲を入れたCDを再版し、教師セミナーでの配布以外に他の教育関係NGOにも配布する。

☆アナマイソングのコンテストを開催する。

Nathair 机イス、黒板

Nongkheng 本棚、天井の扇風機、電気工事、トイレの水ポンプ

Samketh 幼児舎の床補修、机イス

Houaypoun 職員室、図書

Pho-Ngoi 机イス、黒板

以上は、要望があり、現状を見たうえで実施を計画した。

他にも要望がでてくると思われるが、ラオススタッフが現状と地域の協力体制を検討し、日本側へ要請が届く。予算内で適宜対応する。

2) “じゃっど” ツアーに合わせて、教師セミナーもしくは、小学校の健康診断を行い、ツアー参加者が視察協力できるようにする。

3) 川内ライオンズクラブのラオスでの学校建設への協力（衛生教育）を行う。

会計 2009年度収支決算書及び2010年度収支予算書

I 収入の部

科目		2009年度決算	2010年度予算
前期繰越収支差益	国内	3,546,302	2,336,823
	ラオス	319,091	595,022
会費・寄付金	年会費(2000円×会員数)	268,000	300,000
	寄付金(個人)	217,975	300,000
	寄付金・賞金(団体)(※1)	500,000	0
	机いす募金	192,500	250,000
	助成金	200,000	50,000
	小計	1,378,475	900,000
事業費	普及・啓発活動事業	※2 29,400	280,000
	小計	29,400	280,000
その他	利息	1,861	2,000
	雑収入(※3)	97,983	90,000
	期末バザー棚卸	146,752	167,000
	雑貨売上収入(※4)	136,100	130,000
	小計	382,696	389,000
A当期収入合計		1,790,571	1,569,000
B収入合計		5,655,964	4,500,845

II 支出の部

科目		2009年度決算	2010年度予算
事業費	学校保健事業(*1)	58,319	300,000
	学校設備充実事業(*2)	1,467,714	1,500,000
	研修事業(*3)	0	300,000
	普及・啓発事業	257,864	1,000,000
	小計	1,783,897	3,100,000
管理費	人件費(※5)	115,876	100,000
	事務消耗品費(※6)	252,349	250,000
	印刷製本費(※7)	41,571	50,000
	会議費	26,625	20,000
	通信費(※8)	170,421	200,000
	NPO連携(JANIC年会費)	50,000	30,000
	雑費(※9)	49,120	80,000
	小計	705,962	730,000
	期首バザー棚卸	119,349	146,752
	雑貨仕入れ	85,734	80,000
	バザー管理費	12,500	12,000
	為替差損	16,677	
	予備費(活動準備金)	0	432,093
	小計	234,260	670,845
C当期支出合計		2,724,119	4,500,845
A-C当期収支差益		-933,548	-2,931,845
B-C次期繰越収支差益		2,931,845	0

◆2009年度収入の主な内訳

年会費:	2000円 × 120名/年	
個人寄付:		
※1 団体寄付:	500,000円	九州電力生活協同組合
助成金	50000円	薩摩川内市国際交流協会
	150000円	九州ろうきんNPO助成
机いす募金:	のべ 49 の個人、団体より寄付	
※2 普及・啓発事業について:	JICA研修時の理事の講話料	
※3 雑収入について:	南九州ペプシコーラ売上手数料(じゃっと自販機/若松記念病院、東郷ゆったり館)	
※4 雑貨売上:	純心大学学園祭、 きやんせふるさとフェスタ	

◆2009年度支出の主な内訳(ラオス活動)

*1 学校保健事業:	調査・視察、事後観察、
*2 学校設備充実事業:	小学校への教室建築資材、トイレ水道設備、フェンス設置、黒板、スポーツ用品の寄贈
*3 研修事業:	

◆2009年度支出の主な内訳(日本国内)

※2 普及・啓発事業について:	「絵本を送る運動」参加費	200000円(2セット)
	ラオス視察時の経費	57864円
※5 人件費:	ラオス人件費	115876円
※6 事務消耗品費:	パソコン、関連備品(国内) プリンターインク(日本・ラオス) 事務用品、レター用宛名シール コピー用紙など	97968円、62032円
※7 印刷製本費:	「じゃっと」新聞印刷(2回発行) パンフレット等コピー	54号 11319円/ 55号 13860円
※8 通信費:	「じゃっと」新聞の発送(年2回) イベント参加の交通費など NTT通話料、プロバイダ料	54号15360円/ 55号 17360円
※9 雑費:	帳簿整理料(税理士事務所に) ラオスツアーガイド取消し料 振込手数料他	30000円 9,000円

◆2010年予算事業費の主な内訳

学校保健事業	ラオスの子供たちへの保健衛生知識の普及活動 衛生の絵本、紙芝居の配布等
学校設備充実事業	本年度はノンケンに保育園建設補助 小学校に水道、トイレ設備を設置
研修事業	教師養成カリキュラム内の「保健」講義のリサーチ 教師、村長、校長向け保健セミナーの実施
普及開発事業	スタディツアーに学生を派遣、渡航費を一部補助 SVA「絵本を送る運動」参加費 10万円×2セット パネル作成

資産の部		負債と次年度活動準備金の部	
科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産の部		1 流動負債	
①現金	8,461	①未払い金	
②郵便預金	2,181,610	②前受け金	
③棚卸資産	146,752	③預かり金	
④未収入金			
⑤仮払金	595,022		
流動資産合計	2,931,845	流動負債合計	0
2. 固定資産		2 固定負債	0
		III 正味財産の部	2,931,845
合計	2,931,845	合計	2,931,845

監査報告

2009年4月1日～2010年3月31日の期間のじゃっどの決算に関し、事業は適正に実施され、収支計算書及び貸借対照表、諸帳簿は、会計原則に基づいて作成され、監査の結果、確かに相違ないと認めましたのでここに報告します。

2010年 5月 13日 監事 若田吉朗

みなさま、マンガ「もやしもん」をご存知でしょうか。このマンガでいう「もやし」とは、酒の麴玉のことです。麴や、細菌がたくさん紹介される不思議なマンガです。このマンガの別編として、もやしもんの「手を洗おう」という絵本が出ています。この絵本をなんと 500 冊、講談社から頂けることになりました。

えっ。どうして?と驚かれたことでしょうか。実は、私(帖佐理子)はマンガが大好きで、「もやしもん」も読んでいます。絵本も購入しました。かわいい絵を見ながらラオスに持っていきたくになりました。翻訳しての出版は大変ですが、ラオス語の訳文をシールで貼るといふ絵本を送る活動と同じスタイルでならどうだろうか。まず作家に許可をいただこう。と講談社に依頼文書を届けました。そうしましたら、作家 石川雅之氏と講談社の許可をいただき、さらに講談社から 500 冊を寄付くださるといふありがたい申し出までいただきました。

7 月末に川内ライオンズクラブの学校建設の契約手続きの手伝いでラオス訪問した際、ソムチット医師、コンサップ医師、吉田いつこさんと会い「もやしもん」の翻訳について話し合ってきました。翻訳をどうするか。いつどのように届けるのか未だ検討中です。年末のツアー時に持っていけるといいのですが。乞うご期待! ※※かわいらしい菌たちが活躍する物語が大きな話題を呼び、第 12 回手塚治虫文化賞マンガ大賞、第 32 回講談社漫画賞、平成 20 年度醤油文化賞を受賞しました。アニメ化に続いて遂に TV ドラマ化! CG 技術を集結し、実写風景に浮かぶ菌たちを完全再現します。(BS フジで放送中、Good アフタヌーンに連載中) 霧島高原ビールから限定 5000 本もやしもんラベルで発売中です。

帖佐 理子

多国籍合宿に参加しました

今年も 30 国以上 400 人を超える参加で開催されました。2010 年度のテーマは「壁」、言葉の壁、宗教の壁、文化の壁、年齢の壁、性別の壁などがあります。じゃっどは文化の壁を尊重しつつ、言葉の壁を乗り越え活動しているのかなと思います。分科会では、「ちがいのちがいに」を考えてもらいました。



パネル展開催しました

6月26日、27日川内プラッセでパネル展を開催し多くの方に活動の様子、写真を展示しました。ラオス語に訳したシールを絵本に貼りつける作業も楽しみながら手伝ってもらいました。



【事務局たより】

新規会員・ご寄付（2010年3月～2010年9月）

感謝の気持ちと共に、ご協力くださった皆様の御名前を記載させていただきます。（以下敬称略）

- 平成 21 年度会費 中野育子、高坂紀子、(株) ハートフル、今村久美子（薩摩川内市）齋藤美紀（鹿屋市）長友由紀子、鹿島友義、鹿島直子、米山史朗、夏越久美子（鹿児島市）有川清猛（いちき串木野市）吉田いつこ（広島県）小濱千枝（宮城県） 4月
- 平成 22 年度会費 平山健介、飯田和詳、東條勝代、菱刈昭郎、菱刈明子、安藤ツギエ、和田ミヨ、新原千恵子、矢野千鶴子、太利公宏、田中英世、辛島芳子、山下いそ子、江口是彦、田中康代、泊亜希子、古田宣稔、柴こうこ、下尾崎健一、北住信子、小林キヨ子、今村久美子、橋口正美、橋口喜久、瀬戸山弘子、安永健次郎、牧田弘子、宮脇美智子、小倉邦子、渡辺裕子、三本釈世、増岡淳子、帖佐理子、帖佐徹（薩摩川内市）中村律子（出水市）馬場寛利、長友由紀子、帖佐秀人、森岡芳子、時村誠一、時村ヨシ、時村睦子、田中智恵子、窪田喜代子、酒井マリ、岩崎岩男、村方千鶴（鹿児島市）川原恵子、松永武志（阿久根市）小幡順子（南さつま市）宇井豊、望月明子（神奈川県）大熊京子、阿部雅昭、阿部貴美子、宇津木和子、小林義郎（東京都）姫野治子、橋本晴美、横林宙世（福岡県）齋藤美紀（鹿屋市）中村安秀（大阪府）平屋四男、小屋一美、高橋真弓（いちき串木野市）サイヤ キエンベツト、藤島美由紀（愛知県）高野真綾、斎藤洋史、森田由夫（埼玉県）烏山信子、前原よし（千葉県）鎌田到（北海道）鈴木琴子（茨城県）熊谷銀次郎（兵庫県）高木史江（富山県）
- 平成 23 年度会費 菱刈昭郎、菱刈明子、関孝子、牛之浜妙子、神崎侯至、橋口正美、橋口喜久、川畑善照（薩摩川内市）福田弘子（鹿児島市）国田宏（東京都）内田和子（福岡県）
- 寄付金 太利公宏、湯田知栄、田中康代、小林キヨ子、今村久美子、瀬戸山弘子、上原鈴子、小林茂（薩摩川内市）長友由紀子、時村誠一、窪田喜代子、帖佐秀人（鹿児島市）高野真綾（埼玉県）阿部雅昭、阿部貴美子（東京都）
- 机、いす募金 4口：望月明子（神奈川県）北住信子（薩摩川内市）長友由紀子（鹿児島市）
2口：湯田知栄、立島ユカイ、有嶋京子、徳永一江、枇杷真弓、東條勝代、松崎悦子（薩摩川内市）福元良英（指宿市）成田賀寿子（滋賀県）山内京子（広島県）
1口：山下いそ子、田中康代、今村久美子、川畑善照（薩摩川内市）宇井豊（神奈川県）帖佐秀人、時村誠一、窪田喜代

子（鹿児島市）有川清猛（いちき串木野市）永留ちづ子（福岡市）

- 大口寄付者 佐藤元子（東京都）
- 大口机いす募金 12口：照明寺 代表 藤谷文孝（お寺でのバザー収益金 霧島市）
- 新聞発送協力 立島尚子

【国内活動】

- 3月 31日 ジャっと雑貨棚卸
- 18日 ジャっと理事会（小幡理事、古田理事、帖佐理事、帖佐徹、宮脇事務局員）
- 21日 ジャっと活動報告 於：薩摩川内市国際交流協会定期総会（高橋事務局員）
- 4月 24日 「第6回九州ろうきんNPO助成フォーラム」事業報告書提出（本年度助成金贈呈式不参加）
- 4月 28日 中牟礼会計事務所 太利氏事務所訪問
- 5月 10日 中牟礼会計事務所 太利氏事務所訪問
- 5月 13日 監査役 若田吉朗氏事務所訪問（会計監査）
- 5月 15日 第18回ジャっと総会 於：すこやかふれあいプラザ
- 5月 26日 資産総額の変更登記申請 於：鹿児島地方務局
- 6月 10日 鹿児島大学講義 ボランティア論（帖佐理事）
- 6月 13日 第17回さつまパイロットクラブチャリティーコンサート（雑貨販売）
於：城山観光ホテル（増岡、帖佐理事、宮脇事務教員）
- 6月 16日 県への事業報告書提出 薩摩川内市コミュニティ課
- 6月 19日 鹿児島大学留学生センター主催「多国籍合宿」に参加（小幡理事、高橋事務局員）
- 6月 23日 市内ジャっと会員にパネル展開催ご案内はがき発送
- 6月 23日 パネル展用写真準備、絵本のシール貼り（鹿児島大学生ボランティア体験学生2名（久木野、吉永）
- 6月 24日 鹿児島大学講義 国際協力論（帖佐理事）
- 6月 25日 パネル展設営準備（小幡理事、古田理事、増岡、伊東、牧田、後田、小林、高橋事務局員、宮脇事務局員）
- 6月 26～27日 ジャっと活動写真パネル展 於：ブラッセだいわ隈之城店（牧田、柴、高橋事務局員、増岡、田中夫妻、古田理事、泊、宮脇事務局員、大学生の久木野、大学生の吉永）
* ラオスに絵本を届ける運動 絵本シール貼り同時開催
- 7月 7日 鹿児島大学講義 ボランティア論（帖佐理事）
- 7月 17日 国際協力シンポジウム 久留米（小幡理事、古田理事、帖佐理事、帖佐徹、村方）

じゃっと INFORMATION

◆じゃっとスタディツアー募集中!◆

期間:平成22年12月24日~31日

募集人員:5名位

今回は、学生さん6人が同行します。ラオス経験者、初めての方一緒にラオスに魅せられますか?

初めての企画ですがホームステイの経験できます!

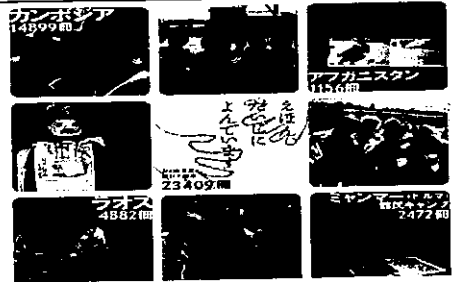
詳しい日程はホームページ、または事務局にお問い合わせください。

今年も参加します!絵本を届ける運動

シャンティ国際ボランティア会主催「絵本を届ける運動」にじゃっとも協力します。お礼のハガキがきました。

2009年度にラオス国には4882冊届けられました!

じゃっとは100冊シール貼りのお手伝いをして、協力しました。



◆聖マリア学院大学での講話

7月17日(土)、聖マリア学院大学でNPO法人ISAPHの主催で国際協力シンポジウムが開かれ、国際協力の現場からというテーマで帖佐理子理事が「ラオスにおける保健教育活動」と題して講話しました。小幡理事、古田理事、村方さんがサポートで同行しました

◆バザーのお知らせ

10月30日、31日鹿児島純心女子大学において例年通りバザーを開催します。可愛い小物や布がたくさんありますのでぜひお越しください。

また、お手伝いをしていただける方は事務局までご連絡ください。



文具の寄付有難うございます

(株)アトル様、キッセイ薬品様、田辺三菱製薬様よりボールペン、メモ帳他文具を頂きました。皆様の善意に感謝です。12月ラオススタディーツアーに持参します

～ 会費納入のお願い ～

各会員様の会費納入状況(会費有効期限)は、宛名シール内に記載してあります。どうぞご確認ください。(今年度平成22年度会費の有効期間は、平成22年4月1日~平成23年3月31日です)※振込用紙はすでに今年度会費を納入済みの方にも同封してあります。寄付金等のご協力にお使いいただければ幸いです

編集後記

★ 体力のなさを実感してから、週2、3回ジムに通い始めて3カ月を過ぎました。誰からも「痩せたね」の一言は聞かれませんが階段を4階まで上がっても息切れしない自分にほそそ笑んでいます。スポーツの秋がやってきましたが次の目標は目に見える変化です(はいぶりっじ)

★ それにしても暑いですね。エアコンをつけっぱなしで地球にやさしくない生活しています。エアコンの効いた部屋で、絵本のシール貼りしよう!!結構たのしいですよ。(K. K)

★ イブニング編集部より絵本「もやしもん」500冊ご寄付いたします!と連絡があった際には、思わず事務局長とガッツポーズしました。ありがたいことです。多くのラオスの子どもたちが、手にとって読めますように。(M. M)